

企業分析の新手法で、あなたの"目利き力"がアップする!!

業種別

目利き力

●A5判
●232頁
定価1,890円(税込)

DASP-4列SWOT分析活用法

保科悦久・三浦英晶・西門謙作 著

本書は、企業を定量的に分析する「DASP分析」、定性的に分析する「4列SWOT分析」、さらに両者を組み合わせた「DASP-4列SWOT分析」により、対象業種・企業を分析していきます。

これは、著者オリジナルの分析手法であり、どのような業種・企業にも対応できます。そこで本書では、金融機関の関心が高い20業種を選別し、上記分析手法を駆使して、企業の伸ばすべき強み・改善すべき弱みを探っていきます。

企業の「目利き」に自信のない法人融資渉外担当者にとっては「目利き力養成」のために。また、これまで数多くの企業を「目利き」してきたベテランにとっては、さらなる「レベルアップ」のために、お役立ていただけます。

取り上げた業種

○農業、林業 ○漁業 ○鉱業、採石業、砂利採取業 ○建設業 ○製造業 ○電気・ガス・熱供給・水道業 ○情報通信業 ○運輸業、郵便業 ○卸売業 ○小売業 ○金融業、保険業 ○不動産業、物品賃貸業 ○学術研究、専門・技術サービス業 ○宿泊業、飲食サービス業 ○生活関連サービス、娯楽業 ○教育、学習支援業 ○医療、福祉業 ○複合サービス業 ○サービス業 ○公務

DASP-4列SWOT分析について

DASP分析

企業が、調達したお金(Debt:負債)で、どのような資産を買い(Assets:資産)、その資産でどれくらい売り上げ(Sales:売上)、その売上のなかからどれくらい利益を出したか(Profit:利益)、という流れを見ることで、企業の定量的な分析を行います。

Debt、Assets、Sales、Profitの頭文字をとり「DASP(ダスパ分析)」と読みます。

4列SWOT分析

企業の強み(Strength)、弱み(Weakness)、機会(Opportunity)、脅威(Threat)から分析する「SWOT分析」と、業界特性を「トップマネジメント」「ミドルマネジメント」「現場レベル」にわけ、さらに業務プロセス別に区分整理し一覧できるようにしたもので、企業の定性的な分析を行います。

DASP-4列SWOT分析

上記2つの分析には相互関係があり、両者の関連性をみることで、企業を多方面から分析するもので、著者オリジナルの分析手法です。

DASP分析図 (農業-A社)



4列SWOT分析表 (農業A社)

OT	小項目	DASP	S	W
トップマネジメント	1 全般マネジメント	DASP		経営計画などが立案されていない
	2 ヒューマンリソース・マネジメント	P	従業員教育を定期的に実施している	
	3 ファイナンス・マネジメント	DASP		資金計画が作成されず、借入・返済が増えたり、決算書の分析・評価・翌期のフィードバックがされていない
	4 ファシリティア・マネジメント	A		機械・設備の購入が計画的に行われていない
ミドルマネジメント	5 販売管理	SP		得意以外の販売先がほとんど確保できていない
	6 品質管理	SP		製品のトレーサビリティが確保されていない
	7 調達管理	P	複数の調達先があり、つながりが強い	
現場レベル	8 新技術管理	P	新技術を積極的に取り入れている	
	9 リスクマネジメント	P	自然災害に対応できるような経営計画を立てている	
	10 作業管理	P	栽培計画が立案され定期的実績をチェックしている 作業が標準化されている 機械を使って自動化・効率化が図れている	

0906-2053-TA (3142)



経済法令研究会

<http://www.khk.co.jp/>

〒162-8421 東京都新宿区市谷本村町3-21

TEL.03 (3267) 4811

FAX.03 (3267) 4803